

風っ子家庭学習のすゝめ 2015

～確かな学力は学習習慣の育成から～

柏市立風早北部小学校



平成 26 年度の学校評価アンケートでは、「家で自分から勉強しようとしている」風っ子は70%を超えています。こんなにたくさんの風っ子が勉強をして力を伸ばしたいと思っているのです。

「風っ子家庭学習のすゝめ」は、平成 26 年度からはじまりました。

本校では、学力向上のために、授業改善など全校で取り組んでいます。家庭学習もその一つです。

まず、低学年から、基礎・基本の定着となるプリントやドリル学習を宿題として出していきます。基礎・基本の定着には、繰り返し学習が大切です。低学年はその割合は高くなります。

高学年になるにつれ、学習内容の幅も広がっていくため、調べ学習など自ら課題を探し、課題を解決していく学習をしていく内容も取り入れていきます。

これからの未来を生きていく子ども達には、知識だけではなく、これらを活用し多様な社会に対応していく考え方が求められるようになっていきます。そのために、基礎・基本の定着と応用的な課題を学年や個々に応じて学習していかねばならないと考えます。

さらに、学習習慣を身に付けることはとても重要です。学校では決められた時間の中で学習をしておりますが、家庭で学習時間を設け、計画的に学習をしていくことで学習習慣を身に付けることができます。学校で学習したことを振り返り、定着できる時間にもなります。

でも、学習習慣を定着させることは一朝一夕ではできません。日頃から、こつこつと継続していくことが大切です。はじめは短い時間でも毎日継続的に続けることで習慣化されます。そのためには、学校と家庭の連携がとても必要になります。

しかし、「どうやって勉強すればいいの?」「何を中心にやればいいの?」「いつ、どのくらいやればいいの?」ということがわからず、思うように効果があがっていない様子もうかがえます。

そこで、学校と家庭と協力して、風っ子の学習をサポートしていきましょう。

家庭も学びの場に!を合言葉に家庭学習をすすめていきましょう。

★なぜ、家庭学習なのか！？★

充実した家庭学習からは次の3つの効果が期待できます。

- (1) 基礎・基本事項の定着により学力の素地を作る
- (2) 学習習慣を育成することで、生涯にわたって学ぼうとする態度を育てる。
- (3) 自分の興味に合った学びの過程を通じ、自ら学ぼうとする意欲の向上を図る。

1. 家庭学習のポイント

- 毎日決まった時間におこないましょう(特別な用事がある時以外は、時間を決める)。
- 学習中は集中して取り組むよう環境を整えましょう(テレビ・音楽等を消す、飲食をしないなど)。
- お子さんが一人でできるようになるまでは、そばで見守りましょう。
- 机の上など学習する場所をきれいに行いましょう。
- 学習が終わったら、次の日の持ち物の準備をしましょう。

2. 発達段階に応じて目指すこと

- 1. 2年生 学校の宿題を必ず行う。
自分から進んで行おうという気持ちを持つ。
- 3・4年生 学校の宿題を、自分から必ず行う。
宿題以外の自主学習にも、取り組めるようにする。
- 5・6年生 宿題がない時も自分から課題を見つけて学習する。
自分で課題をきめ、継続的に自主学習に取り組む。



3. 家庭と学校の協力

- 学校では、この手引きをもとに子ども達へ家庭学習を呼びかけていきます。また、学習への支援や励ましも適宜行っていきます。
- 家庭では、お子さんの現状に合わせて、目指す学習ができるように声かけや励ましを行います。学年によっては、まるつけやチェック表等の確認があります。
- お子さんが困っていること、つまづきについては連絡を取り合ってサポートしていきます。

1年生のみなさんへ

めあて

毎日、おうちで、べんきょうしよう！

勉強時間のめやす

1年生：20分（さんこう2年生：30分）

勉強の内容

勉強のやり方

1. 音読
 - ・こえにだしてよみましょう（おうちの人にきいてもらいましょう）。
 - ・すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
2. 書く
 - ・ていねいに正しくかきましょう。
3. けいさん
 - ・よくかんがえてやりましょう。
 - ・くりかえし、れんしゅうしましょう。
 - ＊プリントは終わったらおうちの人にまるをつけてもらいましょう。
4. そのほか
 - ・おてつだいをしましょう



そのほか



6年生のみなさんへ

めあて

計画にそって毎日、家庭学習をしよう！

勉強時間のめやす

6年生：60分（参考5年生：50分）

勉強の内容

勉強のやり方



1. 国語：教科書の夏季写し・漢字練習・言葉練習・本を読んだ感想・日記・作文など
 - ・誰が見てもわかるようにていねいに書く。
 - ・漢字練習の他にも、辞書を使って言葉の意味を調べて書き写す。
2. 算数：計算練習・算数の問題作りなど
 - ・計算練習に取り組む際は、速さと正確さを両立できるように心がけ、制限時間を設けて取り組む。
 - ・絵や文章を組み合わせて問題を作り、算数への理解を深める。
3. その他：調べ学習
 - ・理科や社会の授業で学んだことについて、自分なりに調べてまとめる。
 - ・資料を活用し、グラフや表にまとめるなどの工夫をして書く。

そのほか

